

青年館、プールなど

青年のための会場、スポーツ施設を大量につくれ

青年の団結で明るい杉並と 民主連合都政の実現をかちとろう

一九六九年六月

日本民主青年同盟杉並地区委員会

美濃部都政のもとで 青年のたかきと要求は前進した

杉並に働き学ぶ青年のみなさん

わたしたちの生活している東京、杉並は、一年前に共産党をはじめとする民主勢力の団結で美濃部都政を実現し、同じ時期におこなわれた杉並区議選では都内で初めての議案提案権をもつ共産党区議団を誕生させて以来、大きな変化をとげてきています。

それは議会内に進出した民主勢力と区民・青年との団結でたくさんの要求を、実現させてきたことです。

たとえば、区内のスポーツ施設では、松の木グラウンドに夜間照明施設ができ、区立の三体育館では毎週の個人自由使用デーも実現しています。わが同盟とスポーツサークルが協同ですすめた「高円寺勤労青年館」は本年中に完成します。

これは、「美濃部都政ができれば都庁に赤旗がたつ」とデマ宣伝までやり、実現を阻止しようとした、これまでの自民党都政のもとでは考えられなかったことです。また、当時自民党と連合した民社党はもちろん、公明党も美濃部都政と民主勢力の力でかちとった成果を「わが党の成果」などと宣伝していますが、いずれも「反美濃部」です。

しかし、わたしたち青年の生活には、対都区にむけての

当面解決をせまられている要求が山積みしています。

民青同盟杉並地区委員会は区内十五万青年とともに次の当面する要求を実現するためにたたかいます。

わたしたちは要求する

- ① 「高円寺勤労青年館」(本年七月竣工)の運営費を地域の青年の募集と自産でいかにものぼせよ
- ② 永福・代田地域、高井戸・久保地域、玉野・下井草地域に「勤労青年館」を建設すること
- ③ 青年館、体育館、公園などの施設は、青年の生活の場にもおとし、終時を最低夜十時までとする
- ④ 区内に勤労青年の利用しやすい夜間使用館をつくらせよ
- ⑤ 当道、中学校のプール夜間開放すること
- ⑥ 高井戸公園の建設を促進し、野球、バト、サッカーなどのスポーツ施設をふくみスポーツ公園とする
- ⑦ 善福寺公園内に、周辺の青年が利用できるバドミントンコートをつくる
- ⑧ 国鉄、私鉄の各駅周辺に、通勤・通学者用の無料の自転車置き場をつくる

要求実現の道—民主 連合都政への前進

杉並に働き学ぶ青年のみなさん

わが同盟と青年のこれらの要求は当然のもので、緊急にも実現されなければならないものばかりです。

しかし、アメリカや日本の大資本のための政治をすすめる自民党は、わたくしたちのこの当然の要求をふみにじり、青年を侵略戦争、軍国主義の担い手にしようとしています。そのため70年安保条約の固定期限終了期を一年前にして、民主主義をねこそぎほう「大学管理・解体法」や沖縄返還問題を利用して日本全土の「核基地化」をねらい青年の要求に真向から挑戦しているのです。

いまこそ青年は職場で、地域で、学園で要求をだしあい団結して、十五万青年の要求と期待にこたえた青年戦線の統一をかちとろう。

そのためには、統一と団結の破壊者、革共同中核派リトロツキスト暴力集団、「反戦青年委員会」の策動を断固として一掃しよう。

この青年の団結した力で、都議会を共産党をはじめとした民主勢力で過半数をしめ、真の民主連合都政へ前進しよう。

こうしてこそ、青年の利益を守り、全国の青年をばげまし、国のあり方を根本からかえる民主連合政府、日本の独立と平和をめざす政治へとすすめることができるのです。

青年のみなさん

豊かな青春、明るい未来をめざし、青年の要求を主張し団結をかためたたかいにたちあがろう。

(この運動についての問合せは随時各層の六の三(三五一五五五)民青杉並地区委員会まで(御連絡下さい))



